

平成 30 年度名古屋市立大学薬学部推薦入試 A 試験問題

(生命薬科学科)

小 論 文

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 問題冊子は 1 冊あります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
解答用紙は、問題 1・問題 2 あわせて 2 枚です。
4. この冊子は試験終了後、持ち帰ってください。

問題1 次の文章は、リチャード・ファインマンの「科学の価値とは何か」という随筆からの抜粋である。筆者は著名な科学者で、永い未来にわたる科学研究の影響と、研究者の責任について考えを述べている。文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

私たちはまだ人類の歴史のほんの始めのほうにいますから、

中略

ことこそ、僕たちの責任なのです。

中略

これはいままでにも、もう幾度となく起こってきたことなのです。

(R.P. ファインマン著・大貫昌子訳「困ります、ファインマンさん」より引用、一部改変)

設問 以下の(1)から(3)の内容をすべて含むように、400字以内でまとめて記述なさい。ただし、(1)から(3)の記載の順は問いません。

- (1) 著者が述べている内容についての、あなたの考え
- (2) 下線部「僕たちの責任」を果たすために必要な研究態度
- (3) 下線部「もう幾度となく起こってきたこと」に関する実例

問題2 次の文章は、アメリカ化学会の Web ページの「What is Green Chemistry?」より
抜粋したものである。その要旨を 200 字以内の日本語で記述しなさい。

The concept of green chemistry is a

中略

hazardous substances we use as our source materials.

注) regulatory : (活動が正常に行われるための) 規制に関する

Environmental Protection Agency : 環境保護庁

mandate : (権力者などが発する) 命令書、指令書

(アメリカ化学会の Web ページ [https://www.acs.org/content/acs/en/greenchemistry/
what-is-green-chemistry.html](https://www.acs.org/content/acs/en/greenchemistry/what-is-green-chemistry.html) より引用、一部改変)